

2012年（平成24年） 山のトイレを考える会 活動報告

山のトイレを考える会

1. フォーラム案内、ニュースレターを送付（2012年1月27日）

第13回山のトイレフォーラム案内とNO.12ニュースレターを会員及び関連団体へ約400通送付しました。

2. 北海道地方環境事務所主催の会議、講習会に参加

（2012年2月1日～2日、2月27日、6月1日、8月20日）

会議名は「大雪山地域登山道協働型維持管理体制検討に関する情報交換会」。2月初めの表大雪地区会議は美瑛町で、東大雪地区は帯広市で開催され、愛甲事務局長と小枝副代表が出席しました。2月27日の登山道維持の室内講習会は旭川市で開催され、愛甲事務局長と仲俣が出席。6月の美瑛町での会議には愛甲事務局長と仲俣が出席。8月の旭岳裾合平での登山道維持技術講習会には黒澤が参加しました。

登山道の維持管理がテーマの会議でしたが、自然保護の視点からは山のトイレと共通しており、積極的に参加することにしました。山の現場をよく知っている関係者が情報交換する場は、相互にコミュニケーションを高め、北海道の山岳環境を効率的に守り改善していく上で必要です。これからも開催していただきたいと願っています。

3. 平成24年度定期総会の開催（2012年3月10日）

第13回フォーラム開催日に定期総会を開催しました。平成23年度事業報告、会計報告、平成24年度事業計画案、予算案について承認していただきました。

4. 第13回山のトイレフォーラムを開催（2012年3月10日）

第13回山のトイレフォーラムが札幌市エルプラザで開催され、38名の参加者を迎えて行われました。テーマは「北海道の山トイレ 今私達にできること」です。

今回は主に次の課題についてディスカッションしました。

- (1) 黒岳バイオトイレ問題
- (2) 幌尻山荘のトイレ問題
- (3) 羅臼岳のトイレ問題
- (4) 夕張岳ヒュッテトイレ状況
- (5) 羊蹄山避難小屋建替えに伴うトイレについて
- (6) 空沼岳万計山荘のトイレ状況

5. 大雪山山開きでマナー啓発（2012年6月30日）

第74回大雪山山開きの入山式が旭川市役所前で実施されました。山開きは3コース設定され、全部で参加者は130名です。事前に主催者側である旭川山岳会に山のトイレマナー

ガイドとマナー袋を送付して、参加者に配布していただきました。

当日の入山式に当会の仲俣が駆け付け、当会の幟を立てアピールしてきました。主催者側からも感謝され、宿泊所で山のトイレマナーについて説明するとのことでした。

6. フォーラム資料集をHPへ掲載 (2012年7月1日)

第1回～12回までのフォーラム資料集をPDF版で全て当会HPへ掲載しました。

全国の山岳環境の保全に携わっている人、関心のある人がいつでも見ることができるようになりました。

7. 山のトイレ案内を送付 (2012年7月12日)

会員や賛助会員宛に「2012山のトイレ案内」とニュースレターNO.13を約400通送付しました。

8. 山のトイレマナーガイドの増刷 (2012年8月17日)

2009年に内容をリニューアルした「山のトイレマナーガイド」の在庫が無くなり、2,000部増刷しました。

9. 携帯版山のトイレ情報をリニューアル (2012年8月10日)

携帯で見ることができる山のトイレ情報に写真を入れたり、項目を増やして、より見易く、目的の山を見つけ易くなるようにリニューアルしました。

10. 「山はみんなの宝」憲章制定の賛同団体として当会が登録 (2012年8月)

2010年6月の事業仕分けで、環境省の「山小屋トイレ整備補助事業」に「廃止」の判定が下されました。その後の山岳関係者の働きかけが実って、事業は復活されました。その活動を受けて「山はみんなの宝」憲章制定委員会が発足され、山の自然保護と適正利用に向けて、「山はみんなの宝」憲章や入山者ルールを作る運動をはじめました。

当会はその考え方に賛同、団体登録をしました。

11. 名刺サイズ型の啓発ツールを作成 (2012年8月20日)

山のトイレを考える会では、今回名刺サイズ型マナーカードを作成しました。「用を足した後のティッシュは必ず持ち帰る」ことを呼びかける内容となっています。今までのマナーガイドと違って小さくて軽いので、ザックに入れてもそれほど荷物になりません。

日頃から持ち歩き、山頂などで登山者に気軽に配布できるツールとして作成しました。

12. 2012全道一斉山のトイレデー実施 (2012年9月9日)

2012トイレデーは9月9日に実施しました。今回で12回目です。

9月9日は荒天で、前日や他日に実施した人が多かったです。北海道の約22箇所の登山口でマナー袋と山のトイレマナーガイドの配布、ティッシュやゴミを拾う清掃登山を行いました。参加者は約36名、マナー袋、マナーガイドはそれぞれ約1400枚を配布することができました。今回も当会の活動目的の重要な柱の一つである「トイレ紙は持ち帰りましょう」を主活動とし、登山者に呼びかけました。

13. 黒岳バイオトイレのオガクズ掻き出し作業に参加（2012年7月12日、10月2日）

黒岳のバイオトイレのオガクズ掻き出し作業に7月12日は、横須賀と黒澤、10月2日は黒澤と仲俣が参加しました。10月4日にヘリで全て下界に搬出されました。

14. 幌尻山荘排泄物担ぎ下ろしに参加（2012年9月15日～18日）

日高山脈ファンクラブ（樋口和生会長）主催の幌尻山荘排泄物担ぎ下ろしに、当会の会員も参加しました。高橋事務局長によると8/12は参加者6名75kg、9/15～17は20名の参加で360kgを担ぎ下ろしたとのこと。

2011年から幌尻山荘へ行くにはシャトルバスの利用が義務づけられ、さらに天候不良も重なり登山者が少なかったため排泄物の量はいつもの年より少なかったようです。

15. 各種セミナーに講師を派遣（2012年9月8日～11月11日）

山のトイレデー前日の9月8日、道央地区勤労者山岳連盟・自然保護委員会主催の自然保護セミナーが上富良野町保険福祉総合センターで開催され、当会の愛甲事務局長が「北海道における山のトイレ問題と全国的な動向」と題してお話をしました。

また11月11日に北海道勤労者山岳連盟主催の第41回北海道登山研究集会の講師として仲俣と黒澤が「北海道の山岳環境の実状と問題点」と題してお話をしました。

16. 当会ホームページ等の維持管理

当会のホームページや携帯で見ることができる「北海道の山トイレ情報」を最新の情報となるよう更新、維持管理に務めました。